

水道局職員フレッシュインタビュー

【平成29年度採用】



氏名 竹中 裕基
所属 管理部 計画課 施設整備担当班
職種 土木（水道）

大分市水道局に就職した理由は？

大分市水道局に就職した理由は、1. 出身である大分市で、インフラに係る仕事がしたいと考えていたこと。2. 目まぐるしく変化する社会情勢の中で、水インフラは大変重要な分野であるということ。3. 水道局は公営企業という立ち位置であり、公と民の双方の視点をもって仕事ができると考え水道局に就職しました。

現在の仕事内容は？

計画課のミッションは次のとおりと考えています。1. 水道設備全体の計画を策定すること。2. 計画に合わせ、着実に水道施設の整備更新を行うこと。3. 水道局における整備データを収集管理すること。私の所属する施設整備担当班では、2. の部分を担っており、整備計画に則り古くなった配水管の更新・耐震化といった水道局の中でも基幹的な工事を行っています。

仕事にやりがいを感じる時は？

就職して半年間が過ぎ、ようやく自分自身で設計した工事が始まろうとしています。その過程で、現地の調査や工事の設計、住民の対応など一つずつの業務を確実にこなしていくことが、仕事のやりがいとなっています。

アフター5について

友人と食事や遊びに行ったり、交友関係を深めたり、読書するなどしてゆっくり過ごしています。

受験を考えている人へメッセージを！

大分市で水道事業が始まって90年が経過しました。インフラの分野は、社会構造の変化、設計や工事の高度化、人員の減少など取り巻く環境が大きく変化しており、水道分野も例外ではなく大きな転換期にあると思います。このような変化に対応しながら、大分市水道事業の次の100年へ向けて一緒に歩んでいきたい人は、ぜひ水道局を受験していただければと思います。